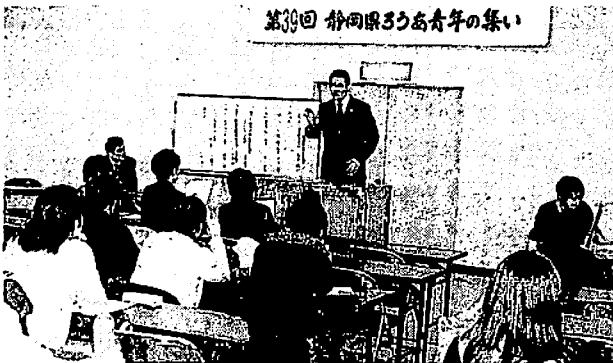


伊東で県ろうあ青年の集い

第39回 静岡県ろうあ青年の集い



県下から集まった青年を前に、あいさつする
芦川実行委員長＝市観光会館会議室で

県下から85人参加

記念講演やレクリエーション

の三本柱を軸に「仲間」を結んで活動していきなさいと協会の伊藤行夫会長が「青年部に期待する」とをテーマに講演。座

第三十九回静岡県ろうあ青年の集い(社団法人静岡県聴覚障害者協会青年部主催)が六日、伊東市観光会館で開催された。記念講演やレクリエーションがあり、県下から参加した約八十五人の青年が共に学び交流した。同協会の四十歳までの青年男女を対象に、毎年県下各支部の持ち回りで開催している。今回は伊豆支部青年部が主催。伊

東では初めての開催となった。

開会式では、芦川正幸実行委員長が、「ろうあ者を取り巻く社会情勢は障害者自立支援法、聴覚特別支援学校問題など課題が

たくさんある。私たちが当事者として主体的に活動し、青年の知と力を結

集し、ノーマライゼーションとバリアフリーを自

指してまい進していこ

う」とあいさつ。青年部

の三本柱を軸に「仲間」を結んで活動していきなさいと協会の伊藤行夫会長が「青年部に期待する」とをテーマに講演。座

を確認した。

の三本柱を軸に「仲間」を結んで活動していきなさいと協会の伊藤行夫会長が「青年部に期待する」とをテーマに講演。座

を確認した。

の三本柱を軸に「仲間」を結んで活動していきなさいと協会の伊藤行夫会長が「青年部に期待する」とをテーマに講演。座

食事は各自、参加者全員でゲームを楽しんだ。